

八街市水道事業ビジョン（案）に対するパブリックコメント（意見募集）結果

平成29年3月

八街市水道課

パブリックコメント結果概要

1. 目的	八街市水道事業では、将来にわたって安心・安全な水道水を安定的に供給し続けることを目的に取り組むべき長期的な構想として「八街市水道事業ビジョン（案）」を取りまとめました。 この（案）につきまして、市民の皆さまから広くご意見をお伺いするため、パブリックコメント手続きを実施します。
2. 募集期間	平成29年3月1日（水）～平成29年3月14日（火）
3. 応募資格者	・市内在住・在勤・在学の方 ・市内に事務所・事業所・法人がある方
4. 公表した資料	八街市水道事業ビジョン（案）
5. 提出者数及び意見数	1名（郵送0通、FAX0通、メール1通、持参0通）
6. 意見に伴う対応について	ご意見を踏まえ、『市の考え』欄に記載した対応の内容を4種類に区分しました。 ①ご意見を踏まえ、修正します。 ②ご意見の趣旨は、既に掲載または、反映しております。 ③ご意見として伺います。 ④その他（ご質問に対する回答、計画書の内容には直接関係ないもの等） ※なお、今回の「パブリックコメント」に基づく『修正』は、ありませんでした。

・パブリックコメントの集計

番号	意見(原文)	市の考え	対応区分
(1)	<p>◎井戸水源の活用について 地下水を適正な範囲内で最大限に活用(P6)に記載されているとおり、現在ある井戸水源を有効に使用できるよう井戸施設の維持管理する必要があると考えます。</p> <p>利根川系水源の渇水制限、水質事故等の場合、「印広水」からの供給が減量・停止等を考えると自己(井戸)水源を活用は重要であり、そのためにも、(P38 図-4.3.1(注))平成28年度から自己水源の暫定井を廃止)井戸を廃止せず現状の水源を予備水源として長く活用する必要があると考える。</p> <p>老朽管の更新(P54)では配水管の更新のみ記載されているが、導水管の石綿セメント管の布設替を配水管より早く、早急に実施し、震災時の自己水源確保に努める必要があると考える。</p> <p>また、(P26)「将来的に、・・・暫定井から・・・ダウンサイジングの更新・・・」とあるが、なるべく、現状維持の設備容量を確保しておく必要があると考えます。</p>	<p>地下水源の活用については、P6に記載してありますが、暫定井は、千葉県環境保全条例に基づく揚水許可を条件付きで受けているものです。許可の条件につきましては、水道用水源が表流水への転換されるまでの間となっております。</p> <p>水道事業における水源につきましては、経営に与える重要な問題であると認識をしておりますので、八ッ場ダムが完成した後も暫定井が使用できるよう関係団体及び機関等に働きかけたいと考えております。</p> <p>老朽管の更新につきましては、その老朽度や利用状況などを考慮し優先度を踏まえ、整備を進めることとしております。また、施設のダウンサイジングにつきましても、老朽度や水道利用の状況などを含め総合的に検討し、施設の有効利用が図れるような施設規模として計画に反映して行くこととしております。</p>	②
(2)	<p>◎財務について 今後、維持、更新工事等に多額の資金が必要なのは、理解できますが、これを水道利用者だけ(水道料金の値上げ)で賄うことは、利用者の理解を得ることは難しいと思います。</p> <p>大震災時などの飲料水の確保(未利用者も含め)・消防水の確保など施設の耐震化等は市全体で対応する必要であることから市の一般会計からの補てん(補助)の拡大が必要と考えます。</p>	<p>水道事業は、地方公営企業法に基づき事業運営を行うこととなり、事業は独立採算制が原則です。しかしながら、水道は、ライフラインとして重要な施設であり、適正な価格で供給しなければならないものと認識しています。財源確保にあたって、現行の補助制度を活用しておりますが、今後新たな制度の創設がある場合には、率先して活用を図りたいと考えております。</p>	②
(3)	<p>◎水道未使用者の加入促進について ・配水管整備済の未使用個数(家屋)を確認し、アンケート等を実施し今後の動向を把握する。 ・井戸使用の分譲団地住宅等は、将来、団地内の住民・住宅が減少し、団地住民だけでは既存井戸施設の維持は困難になることが考えられることから配水管を延長し、一括して市水道への早期切替促進等により、給水人口・給水量の拡大に努める必要があると思います。</p>	<p>配水管の整備には多額の費用が投じられ既に整備された配水管の投資効果を上げるためにも加入促進が必要であることは、ご意見のとおりです。</p> <p>「八街市水道事業ビジョン」では、より具体的な施策までは記載しませんが、P72「10-01 広報・広聴手段の整備・充実」で利用者を拡大するために水道水の良さをPRすることで、加入促進を図り配水管利用効率を上げることとしています。</p>	②

- ・その他事務局による対応

- ・「八街市水道事業ビジョン（案）」に掲載してあった表の位置の誤り及び表中の数字に転記ミスがありましたので、修正を行いました。
また、文書中に誤字、脱字がありましたので、その訂正と一部文書表現を変更しました。